

キンボールスポーツ

1986年カナダ・ケベック州のマリオ・ドゥマース氏によって考案された今までにない、新しいタイプのスポーツです。

- 共遊…最大8名まで登録でき、何回でも自由に交代できます。
- 主体…同じ人が2回続けてヒットしてはならない、ヒット時にはチーム全員がボールに触れていなければならないなど、誰もが主役になれるスポーツです。
- 創造…参加者の年齢、経験、体力などの条件に応じて一部変更が認められていたり、ボール遊びとして楽しんだりすることもできます。



時期	通年	所要時間	1～2時間	人数	60名以内
対象	小学生以上	活動場所	プレイホール、近隣体育館		
準備物	自然の家で貸し出す物		団体・個人で準備する物		
	キンボール…ピンクまたはブラック スコアボード ゼッケン…ピンク、ブラック、グレーの3色		□汗拭き用タオル □水筒(必要に応じて)		
活動の手順	事前指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームを編成する。(1チーム4人の3チーム対抗) 2 用具を準備する。(プレイホール内掲揚旗裏の用具室) 3 ルールを知る。 ① 3人でボールを支え、コール(注1)後、プレーヤーの1人がボールをヒットする。 ② コールされたチームは、ボールが床に落ちる前にレシーブ(注2)する。 ③ ボールを床に落とさないよう、チームメートと協力し、3人でボールを支える。 ④ 今度はレシーブチームがヒットチームになり、コール後にプレーヤーの1人がボールをヒットする。 ⑤ ①～③をミスや反則があるまで繰り返す。 <p>(注1)コール=自チーム以外のカラーを選び、「オムニキン グレー」のように、必ずコールをしてから片腕、または両腕(低・中学年)でボールを打ち出す。</p> <p>(注2)レシーブ=レシーブに失敗する(床に落ちてしまう)と、他の2チームに1点ずつ得点が与えられる。</p>			
	活動の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゲーム開始 ・1ピリオド7～10分で1ピリオドマッチで行う。 ※チーム数が多い場合は、1ピリオドの時間を短くしてもよい。 ・ゲームに参加していないチーム得点係をする。 ・トーナメント戦またはリーグ戦で行う。 			
	事後	<ol style="list-style-type: none"> 1 参加者のけがの有無を確認する。 2 用具の後片付けをする。 			
備考	<p>※ プレイホールでは、ボール1つでゲームを楽しんでください。</p> <p>※ ボールを追いかけて壁への衝突などに十分気を付けてください。</p>				

